

# 令和2年度用「小学算数」3年 年間指導計画作成資料（案）

## 令和2年6月版

### 取り扱いに当たっての留意事項

- 「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」では、学習内容や時数について考えられる案を示しています。学校や地域の実態に応じてご参照ください。
- 表中の「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」とは、「学校の授業以外の場で学習したことを基に、授業で各活動が展開されること」を前提としています。学校以外の場のみで学習が完結するということではありませんので、授業における配慮をお願いします。
- ウェブを活用した場面があります。音声や動画を視聴できる環境にない家庭の児童への配慮をお願いします。
- 単元ごとの配當時数、主な学習活動などは、今後変更になる可能性があります。予めご了承ください。
- 各単元の評価規準については、小社ウェブサイトの「年間指導計画・評価計画（案）」をご参照ください。

教育出版

【本資料の見方】

◆配当時間数

黒字は、平時の授業時間数を示しています。  
赤字は、学校での授業と、学校の授業以外の場において取り組む学習活動（[以外]）を併用して指導する場合を示しています。

1 かけ算のきまり		4月上旬～中旬（8時間⇒7時間+[以外]） p.10～21				
◆単元の目標と評価規準						
○乗法に関して成り立つ性質について理解し、交換法則、結合法則、分配法則などが成り立つことを図や式などを用いて考える力を身につける。また、乗法に関して成り立つ性質に進んで関わり、その過程を振り返り、計算の工夫などに生かせるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ウ)、A(3)ア(ア)(ウ)、A(3)イ(ア)】						
・乗法の交換法則、結合法則、分配法則など、乗法に関して成り立つ性質を理解している。<知・技>						
・数量の関係に着目し、乗法に関して成り立つ性質を見いだしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>						
・乗法に関して成り立つ性質に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>						
◆指導計画と指導上の留意事項						
時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項	
7	10519	(0のかげ算)	①0の乗法を理解する。	・「とく点は何点かな？」の活動をきっかけに、点取りゲームの合計の得点を求めることに興味をもつ。 ・ $3 \times 0$ や $0 \times 5$ のような、0の乗法の意味を知る。	・第1時の前の予習で、p.10の「とく点は何点かな？」に取り組み、点取りゲームの題意を把握する。 ・第1時の授業では、p.11のゆやの点取りゲームの結果の考察から取り組み、p.13の九九の表の振り返りまでを指導する。九九の表の振り返りは、可能であれば「まなびリンク」のデジタルコンテンツを利用して取り組む。 ・第2時の授業では、p.13の乗2の問題提示から取り組み、p.15までを扱い、第1・2・3時を2時間で指導することが考えられる。	
		(かけ算のきまり)	②乗数と積の関係、乗法の交換法則を理解する。 ★	・7の段の答えの並び方を調べることをとおして、乗数と積の関係についてまとめる。 ・ $7 \times 6$ と同じ答えになる九九を探すことをとおして、乗法の交換法則についてまとめる。		
			③乗法の分配法則を理解する。	・ $7 \times 6$ の乗法の答えの求め方をアレイ図を用いて考えることをとおして、乗法の分配法則についてまとめる。		
			④乗法に関して成り立つ性質をもとに、2位数と1位数との乗法の計算のしかたを考えることができる。	・乗法に関して成り立つ性質などを用いて、 $13 \times 4$ の答えの求め方を考える。		
			(何十、何百のかげ算)	⑤何十×何、何百×何の乗法の計算のしかたを理解する。		・ $20 \times 3$ 、 $200 \times 3$ のような、何十×何、何百×何の乗法の計算のしかたを10や100をもとにして考える。
			(3つの数のかけ算)	⑥乗法の結合法則を理解する。		・箱入りのドーナツの代金の求め方を3口の乗法の式に表すことをとおして、乗法の結合法則についてまとめる。
		(かけ算を使って)	⑦積から乗数や被乗数を見つけることができる。(除法の素地)	・ $6 \times \square = 24$ 、 $\square \times 3 = 15$ の□にあてはまる数の求め方を考える。		
1	2015	まとめ	⑧学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 [九九の表を広げよう]	・単元のまとめをする。 ・乗法に関して成り立つ性質などを用いて、九九表を $0 \times 0$ から $13 \times 13$ まで拡張する。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。 ・[以外]の学習活動としてp.21の「九九の表を広げよう」に取り組む。	
★まなびリンク シミュレーション「九九の表ツール」						

◆[以外]の学習活動例や指導上の留意事項  
[以外]における予習・復習の例や、それらを踏まえて授業時間数を更に削減する場合の例を示しています。学校や地域の実態に応じて、適宜ご参照ください。

◆赤い網掛け部分

[以外]で取り組むこととする学習活動は、赤い網掛けで示しています。

\* は「発展的な学習内容」を含む箇所

★は教育出版のWebサイトに「まなびリンク(デジタルコンテンツ)」がある箇所

<上巻>

● 算数をはじめよう！／ひき算のヒミツ

4月上旬（2時間）  
p.2～9

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
2	2 5 9	算数をはじめよう！／算数で使いたい考え方	①②算数の学習の進め方を理解し、問題解決に生かすことができる。	・「算数をはじめよう！」及び「算数で使いたい考え方」を見て、算数の学習の進め方について話し合う。	・予習で、教科書を読み、「学びを深める大切な言葉」、「学習の進め方」、及び「算数で使いたい考え方」を確認する。
		ひき算のヒミツ		・「ひき算のヒミツ」の問題に取り組む、2つの数字を使って2位数－2位数の式を作り、答えになる数のきまりを考える。	・予習で、p.7の「問題をつかむ」、及び「自分の考えをもつ」段階まで取り組む。 ・授業では、「みんなで話し合う」、及び「ふり返る」段階に重点をおく。 ・「広げて考える」段階は[以外]の学習活動として取り組み、第1・2時を1時間で指導することが考えられる。

1 かけ算のきまり

4月上旬～中旬（8時間⇒7時間+[以外]）  
p.10～21

◆単元の目標と評価規準

○乗法に関して成り立つ性質について理解し、交換法則、結合法則、分配法則などが成り立つことを図や式などを用いて考える力を身につける。また、乗法に関して成り立つ性質に進んで関わり、その過程を振り返り、計算の工夫などに生かせるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ウ)、A(3)ア(ア)(ウ)、A(3)イ(ア)】

- ・乗法の交換法則、結合法則、分配法則など、乗法に関して成り立つ性質を理解している。<知・技>
- ・数量の関係に着目し、乗法に関して成り立つ性質を見いだしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>
- ・乗法に関して成り立つ性質に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
7	1 0 5 1 9	(0のかけ算)	①0の乗法を理解する。	・「とく点は何点かな？」の活動をきっかけに、点取りゲームの合計の得点を求めることに興味をもつ。 ・ $3 \times 0$ や $0 \times 5$ のような、0の乗法の意味を知る。	・第1時の前の予習で、p.10の「とく点は何点かな？」に取り組み、点取りゲームの題意を把握する。 ・第1時の授業では、p.11のゆうやの点取りゲームの結果の考察から取り組み、p.13の九九の表の振り返りまでを指導する。九九の表の振り返りは、可能であれば「まなびリンク」のデジタルコンテンツを利用して取り組む。
		(かけ算のきまり)	②乗数と積の関係、乗法の交換法則を理解する。★	・7の段の答えの並び方を調べることとおして、乗数と積の関係についてまとめる。 ・ $7 \times 6$ と同じ答えになる九九を探すこととおして、乗法の交換法則についてまとめる。	・第2時の授業では、p.13の葉2の問題提示から取り組み、p.15までを扱い、第1・2・3時を2時間で指導することが考えられる。
			③乗法の分配法則を理解する。	・ $7 \times 6$ の乗法の答えの求め方をアレイ図を用いて考えることとおして、乗法の分配法則についてまとめる。	
			④乗法に関して成り立つ性質をもとに、2位数と1位数との乗法の計算のしかたを考えることができる。	・乗法に関して成り立つ性質などを用いて、 $13 \times 4$ の答えの求め方を考える。	
		(何十、何百のかけ算)	⑤何十×何、何百×何の乗法の計算のしかたを理解する。	・ $20 \times 3$ 、 $200 \times 3$ のような、何十×何、何百×何の乗法の計算のしかたを10や100をもとにして考える。	
		(3つの数のかけ算)	⑥乗法の結合法則を理解する。	・箱入りのドーナツの代金の求め方を3口の乗法の式に表すこととおして、乗法の結合法則についてまとめる。	
		(かけ算を使って)	⑦積から乗数や被乗数を見つけてることができる。(除法の素地)	・ $6 \times \square = 24$ 、 $\square \times 3 = 15$ の□にあてはまる数の求め方を考える。	
1 (0)	2 0 1	まとめ	⑧学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 [九九の表を広げよう]	・単元のまとめをする。 ・乗法に関して成り立つ性質などを用いて、九九表を $0 \times 0$ から $13 \times 13$ まで拡張する。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。 ・[以外]の学習活動としてp.21の「九九の表を広げよう」に取り組む。

★まなびリンク シミュレーション「九九の表ツール」

## 2 時こくと時間

### ◆単元の目標と評価規準

○時間の単位「秒」について知り、日常生活に必要な時刻や時間を求めることができ、日常生活に生かしている。また、時刻と時間を表したり求めたりすることに進んで関わろうとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(2)ア(ア)(イ), C(2)イ(ア)】

- ・日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。また、時間の単位「秒」について知り、1分=60秒の関係を理解している。<知・技>
- ・時間の単位に着目し、時刻や時間の求め方について考察し、日常生活に生かしている。<思・判・表>
- ・時刻と時間に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
4	2 2 3 0	(短い時間の単位)	①ある時刻からある時間経過した時刻を計算で求めることができる。 ★	・「町たんけんの計画を立てよう！」の活動をきっかけに、時刻と時間の学習を振り返る。 ・午前8時50分から30分たった時刻や午前10時20分から50分たった時刻のような、ある時刻からある時間経過した時刻の求め方を図を用いて考える。	
			[友だちのノートを見よう]	・教科書のノート例や友だちのノートを見て、ノートの書き方の工夫について話し合う。	
			②ある時刻からある時間前の時刻を計算で求めることができる。	・午前10時10分の45分前のような、ある時刻よりある時間前の時刻の求め方を図を用いて考える。	
			③時間と時間の和や、時刻と時刻の間の時間を計算で求めることができる。	・45分間と30分間を合わせた時間のような、時間と時間の和の求め方を図を用いて考える。 ・午前8時50分と午前11時20分の間の時間のような、時刻と時刻の間の時間の求め方を図を用いて考える。	
			④時間の単位「秒」と単位の関係を理解する。	・1分より短い時間を表す単位「秒」を知り、1分=60秒を知る。	
1	3 1	学んだことを使おう	⑤時刻や時間の計算を活用して、条件に合った計画を立てることができる。	・「遊園地の計画を立てよう！」という目的意識から、遊園地の場面絵に示された乗車時間を用いて、条件に合う計画を立てる。	
1 (0) ( )	3 2	まとめ	⑥学習内容の理解を確認し、確実に身につける。★	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

★まなびリンク シミュレーション「時計ツール」

★まなびリンク 資料「時と時計について学ぶページ(日本時計協会)」

## ◎ ふくしゅう①

頁	学習活動
3 3	・第2学年「図をつかって考えよう」「1を分けて」の復習をする。 ・単元3「たし算とひき算」に関わる既習事項を確認する。

### 3 たし算とひき算

#### ◆単元の目標と評価規準

○3位数や4位数の加法及び減法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法及び減法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。

【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ), A(2)イ(ア)】

- ・3位数や4位数の加法及び減法の計算が、2位数などについての基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、加法及び減法の計算が確実にできる。<知・技>
- ・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>
- ・加法及び減法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

#### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
3	3 4 5 3 8	たし算	①3位数+3位数で百の位に繰り上がりのない加法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。	・「牛にゆうバックは何まいかな？」の活動をきっかけに、場面絵を見て既習の計算を振り返るとともに、未習の問題に取り組むことに関心をもつ。 ・318+225のような、3位数+3位数の加法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。	
			②3位数+3位数で百の位に繰り上がる加法の計算ができる。	・482+164のような、百の位へ繰り上がる加法の計算、327+376のような、十の位への繰り上がり波及的に百の位へ繰り上がる加法の計算のしかたを考える。	
			③3位数+3位数で千の位に繰り上がる加法の計算や、4位数+4位数の加法の計算ができる。	・823+435のような、千の位に繰り上がる加法の計算のしかたを考える。 ・3264+4358のような、4位数+4位数の加法の計算のしかたを考える。	
7	3 9 4 6	ひき算  (たし算とひき算の暗算)  (計算のくふう)	④3位数-3位数で百の位から繰り下がりのない減法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。	・352-214のような、3位数-3位数の減法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。	
			⑤3位数-3位数で百の位から繰り下がる減法の計算ができる。	・637-285や927-789のような、百の位から繰り下がる減法の計算のしかたを考える。	
			⑥波及的に繰り下がる減法の計算のしかたを理解する。	・304-128や1000-347のような、一の位の計算をするときに波及的に繰り下がる減法の計算のしかたを考える。	
			⑦4位数-3位数の減法の計算や、4位数-4位数の減法の計算ができる。	・1267-534のような、千の位から繰り下がる減法の計算のしかたを考える。 ・3972-1368のような、4位数-4位数の減法の計算のしかたを考える。	
			⑧加法と減法の暗算ができる。	・58+23のような、2位数どうしの加法の暗算のしかたを考える。 ・46-17のような、2位数どうしの減法の暗算のしかたを考える。	
			⑨加法や減法の性質を用いて、工夫して計算するしかたを考えることができる。	・320+298を320+300とみて計算してから答えを調整する方法について考える。 ・1000-312を999-312とみて計算してから答えを調整する方法について考える。	
		⑩3口の加法の場面 で、結合法則を用いて工夫して計算することができる。 [3つの数の筆算]	・386+67+33のような、計算の順番を変えるときりのよい数値になる加法について、結合法則を用いて工夫して計算する。 ・359+836+147のような3口の加法も、筆算でできることを知る。		

1	4 7	学んだことを使おう	⑪日常生活の場面と関連づけて、加法や減法の計算を活用することができる。	・「おこづかい帳をつけよう！」という目的意識から、3位数どうしの加減計算を活用して、おこづかい帳の空欄にあてはまる金額を求める式を考えたり、残りの金額から誕生日プレゼントの買い方を考えたりする。	
1 (0)	4 8 9 5	まとめ	⑫学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

## ■ まほうじん

5月下旬 (1時間⇒0時間+[以外])

p.50

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1 (0)	5 0		①魔方陣の空欄にあてはまる数を、筋道を立てて考えることができる。	・魔方陣のしくみを知り、空欄にあてはまる数を考える。	・[以外]の学習活動として取り組み、ノート等にまとめる。

## 4 わり算

5月下旬～6月上旬 (11時間⇒10時間+[以外])

p.51～66

### ◆単元の目標と評価規準

○除法の意味や式について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、除法について考えることに進んで関わり、除法を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(4)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ), A(4)イ(ア)(イ)】

- ・除法の意味や式について理解し、除数と商がともに1位数である除法の計算が確実にできる。また、簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算のしかたを知っている。<知・技>
- ・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>
- ・除法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
2	5 1 5 4	分けられる数はいくつ	①除法の意味(包含除)、除法の式について理解する。	・「分け方のちがいを考えよう！」の活動をきっかけに、2つの場面絵を比較することで、分け方の違いに関心をもつ。 ・12個を4個ずつに分けると3つに分けられる場面を表すことをとおして、除法(包含除)の意味と式、「わり算」の意味を知る。	
			②除法(包含除)の答えの求め方を理解する。	・24個のビー玉を6個ずつに分ける場面で、包含除の場合の答えの求め方を考える。	
8	5 5 6 4	1人分はいくつ  (2つの分け方)	③除法の意味(等分除)を理解する。	・12個を4人で同じ数ずつ分けると1人分は3個になる場面を表すことをとおして、除法(等分除)の意味と式を知る。	
			④除法(等分除)の答えの求め方を理解する。	・24個のいちごを6人で同じ数ずつに分ける場面で、等分除の場合の答えの求め方を考える。	
			⑤包含除と等分除を統合的に理解する。	・ $8 \div 2$ の式になる包含除の問題と等分除の問題を作り、それぞれ答えの求め方を図や式に表して比較する。	
			⑥包含除と等分除の場面について、それぞれテープ図に表して理解を深める。	・連続量になる場面で、 $20 \div 4$ の式になる包含除の問題と等分除の問題を作り、それぞれ答えの求め方をテープ図に表して比較する。	

		(0や1のわり算)	⑦0や1の除法の意味を理解する。	・6個、3個、0個のドーナツをそれぞれ3人で分けたときの数を求めることをとおして、被除数が0や、商が1になる除法の意味を知る。 ・除数が1の除法の意味を知る。	
		(倍の計算)	⑧何倍かを求めるのに除法を用いることを理解する。	・3cmの7倍の長さを求めるのに乗法を用いることを振り返る。 ・18cmが3cmの何倍かを求めることをとおして、何倍かを求めるのに除法を用いることを知る。	
		(答えが2けたになるわり算)	⑨何十÷1位数の除法の計算のしかたを理解する。	・60÷3のような、何十÷1位数の除法の計算のしかたを10をもとにして考える。	
			⑩位ごとにわりきれぬ2位数÷1位数の除法の計算のしかたを理解する。	・69÷3のような、2位数÷1位数=2位数の除法の計算のしかたを位ごとに分けて考える。	
1 (0)	6 6 6 5 5	まとめ	⑪学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

## 5 長さ

6月中旬 (5時間⇒4時間+[以外])  
p.67～74

### ◆単元の目標と評価規準

○長さの単位「km」、道のりと距離の意味、及び巻尺について知り、計器を適切に選んで長さを測定する力を身につける。また、長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(1)ア(ア)(イ)、C(1)イ(ア)】

- ・長さの単位「km」について知り、単位の間隔を理解し、長さについておよその見当をつけ計器を適切に選んで測定することができる。<知・技>
- ・測定するものの特徴に着目し、ものさしでは測りにくいところの長さの測り方を考えている。<思・判・表>
- ・長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
3	6 7 5 7 1	(まきじゃく)	①②巻尺の機能と使い方を理解し、身のまわりのものの長さを巻尺で測定することができる。 ★	・「長さを予想してはかろう！」の活動をきっかけに、教室にあるものの長さを測ることをとおして、30cmものさしや1mものさしでは測りにくい長さに関心をもつ。 ・巻尺のしくみ、巻尺を使った測定のしかたや有用性を知る。 ・身のまわりのものの長さを予想してから、巻尺を使って測る。	
		(道のりときより)	③道のりと距離の意味、長さの単位「km」と単位の間隔を理解する。	・絵地図から長さを求めることをとおして、長さの単位「キロメートル(km)」を知り、1km=1000mを知る。 ・道のりと距離の意味を知る。	
1	7 2	学んだことを使おう	④100mや1kmなどの長さを体感し、長さについての感覚を豊かにする。	・100mや1kmの感覚を身につけるために「100mや1kmを歩こう！」という目的意識から、100mや1kmを歩くのにかかる時間や歩数を調べる。	
1 (0)	7 3 5 7 4	まとめ	⑤学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。
		[東京から何軒(キロメートル)?]	[東京から何軒(キロメートル)?]	・昔の里程標(距離を示した標識)に記されたkmの漢字表記「軒」を知る。	・[以外]の学習活動としてp.74の「東京から何軒(キロメートル)」を読む。

★まなびリンク 動画「長さのはかり方(右きき)(左きき)」

## 6 表とぼうグラフ

### ◆単元の目標と評価規準

○棒グラフや二次元表について理解し、データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察して、見いだしたことを表現する力を身につける。また、データを分析することに進んで関わり、その過程を振り返り、グラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(1)ア(ア)(イ), D(1)イ(ア)】

- ・棒グラフや二次元表の特徴について理解し、表したりよみ取ったりすることができる。<知・技>
- ・データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察して、見いだしたことを表現している。<思・判・表>
- ・データを分析することに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	7 5 7 8	整理のしかた	①データの分類整理のしかたを理解する。	・「乗り物が通る様子を調べよう！」の活動をきっかけに、学校の前の道を通る乗り物の種類や数の記録のしかたに関心をもつ。 ・学校の前の交通量を調べる活動をとおして、落ちや重なりがなく、項目ごとに分類整理するしかたを考える。 ・データを一次元表に整理する。	
5	7 9 8 5	ぼうグラフ  (ぼうグラフのかき方)	②棒グラフのよみ方を理解する。	・数量の大きさを表すグラフとして、棒グラフのよみ方を知る。 ・棒グラフでは、数量の大きい順に並べて表す場合があることを知る。	
			③棒グラフのいろいろな表し方を理解する。	・棒グラフでは、順序性があるものは順序どおりに並べることを知る。 ・棒が横向きの場合や、1目盛りの大きさが1でない場合の棒グラフをよみとる。	
			④棒グラフのかき方を理解する。★	・学校で起こったけが調べのデータを棒グラフに表すことをとおして、棒グラフのかき方を知る。	
			⑤⑥棒グラフに表すときに、目的に合った目盛りのつけ方を考えることができる。★	・1目盛りの大きさが1でない場合の棒グラフをかく。また、同じデータを異なる目盛りのつけ方で表した棒グラフを比較して、目的に合った目盛りのつけ方について考える。	
1	8 6 7	くふうした表	⑦二次元表のよみ方、かき方を理解する。	・組ごとの「自由研究調べ」の表を1つの表にまとめることをとおして、二次元表のよみ方、かき方を知る。	
1	8 8 9	学んだことを使おう	⑧目的に応じて、複数の棒グラフを組み合わせるなど、棒グラフに表すときの工夫のしかたについて考えることができる。	・「グラフに表してつたえよう！」という目的意識から、「自由研究調べ」の二次元表と棒グラフをよみとる。また、わかりやすく伝えたいことに応じて、目的に合った棒グラフに作り直す。	
1 (0)	9 0 1	まとめ	⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。  ・[以外]の学習活動(夏休みの自由研究等)としてp.91の「ぼうグラフを使って」を紹介する。
			[ぼうグラフを使って]	・読書調べやお手伝い調べのポスターを参考に、棒グラフなどを用いてポスターを作る。	

★まなびリンク シミュレーション「ぼうグラフツール」

### ◎ ふくしゅう②

頁	学習活動
9 2	・「かけ算のきまり」「時こくと時間」「たし算とひき算」の復習をする。 ・単元7「あまりのあるわり算」に関わる既習事項を確認する。

## 7 あまりのあるわり算

### ◆単元の目標と評価規準

○あまりのある除法の意味や式について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考えたり、計算の確かめのしかたを考えたりする力を身につける。また、除法について考えることに進んで関わり、除法を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(4)ア(ア)(イ)(ウ)(エ), A(4)イ(ア)(イ)】

- ・あまりのある除法の意味や式について理解し、除数と商がともに1位数である除法の計算が確実にできる。<知・技>
- ・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>
- ・除法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
6	9 3 5 1 0 0	(答えのたしかめ)  (あまりはどうする)	①あまりのある除法(包含除)の意味、除法の式について理解する。	・「5こずつふくろに入れよう！」の活動をきっかけに、既習の除法を振り返るとともに、未習の問題に取り組むことに関心をもつ。 ・17個を5個ずつ分けると3つに分けられて2個あまる場面を表すことをとおして、あまりのある除法(包含除)の意味と式を知る。	
			②除法のあまりの大きさを理解する。	・あめを4個ずつ袋に入れる場面で、あまりはいつも除数より小さくなるようにすることを知る。	
			③あまりのある除法(等分除)の意味を理解し、除数と商が1位数のあまりのある除法の計算ができる。	・27個のクッキーを4人で同じ数ずつ分ける場面(等分除)で、1人分が何個になって何個あまるかを求める。	
			④あまりのある除法の答えの確かめの式を理解し、用いることができる。	・20個のミニトマトを3個ずつ袋に入れる場面で、除数、被除数、あまりの関係を考え、あまりのある除法の答えの確かめの式を知る。	
			⑤除法のあまりの処理(あまりを加える場合)について考えることができる。	・27個のボールを6個ずつ箱に入れるときの箱の数を考える問題で、除法のあまりの処理のしかたを考える。	
			⑥除法のあまりの処理(あまりを除く場合)について考えることができる。	・幅が22cmの本立てに厚さ3cmの本を入れるときの本の数を考える問題で、除法のあまりの処理のしかたを考える。	
1	1 (0) 1	学んだことを使おう*	⑦日常生活の場面と関連づけて、あまりのある除法の計算を活用することができる。	・「何曜日か調べよう！」という目的意識から、日曜日ほどれも7でわりきれぬ数であることをもとに、ほかの曜日についても調べ、除法のあまりに着目してきまりを説明する。	・[以外]の「はってん」扱いの学習活動として選択的に取り組み、ノート等にまとめる。
1	1 (0) 3	まとめ	⑧学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

## ■ なみ木道

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	1 0 4		①木の本数と間の数の関係の問題(植木算)を、図や式などを用いて筋道を立てて考えることができる。	・8mおきに5本ある植木の端から端までの長さを求める問題について、場面を図に表して考え解決する。 ・6kmを歩く間に2回休憩する場合の1度に歩く長さを求める問題について、場面を図に表して考え解決する。	



## 9 円と球

### ◆単元の目標と評価規準

○円とその中心、半径、直径について理解し、図形の性質を見いだしたり構成のしかたを考えたりする力を身につけるとともに、円に関連して、球についても理解する。また、円や球に進んで関わり、身のまわりのものの形を円や球として捉えるなど、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(ウ)、B(1)イ(ア)】

- ・円とその中心、半径、直径について理解し、円を作図したり長さを写し取ったりする道具としてコンパスを用いることができる。また、円に関連して、球についても理解している。<知・技>
- ・円の中心、半径、直径に着目し、構成のしかたを考えるとともに、図形の性質を見だし、身のまわりのものの形を円や球として捉えている。<思・判・表>
- ・円や球に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
6	1 1 8 5	円	①②円の意味、性質、円の中心、半径を理解する。	・「どんなならび方をすればいいかな？」の活動をきっかけに、玉入れの的に対してどのように並ぶと公平になるのかに関心をもつ。 ・的になる点から等距離の点をいくつもかく活動をとおして、円や、円の中心、半径を知る。	
			③円の直径を理解する。	・円の中心を見つける活動をとおして、円の直径を知る。	
			④直径の性質を理解する。	・円の中にかかれた直線の長さを比べることをとおして、直径が円の中でいちばん長い直線になることを知る。	
			⑤コンパスの使い方を理解し、円の作図ができる。★	・コンパスを使った円のかき方を知り、コンパスを使って円をかく。	
			⑥コンパスの機能を理解する。★	・線の長さを比べることをとおして、コンパスには長さを写し取る機能があることを知る。	
1	1 2 7	球	⑦球の意味、性質、球の中心、半径、直径を理解する。	・ボールなどのさまざまな球の特徴を調べ、球について知る。 ・球の中心、半径、直径を知り、球の直径の測り方を考える。	
1	1 2 9	学んだことを使おう	⑧日常生活の場面にコンパスを活用し、その機能と有用性について理解を深める。	・「コンパスで地図を調べよう！」という目的意識から、地図上で、ある地点から1kmの範囲や2地点間のおよその距離などをコンパスを使って調べる。	
			[くるくるまわすと?]	・紙で作った円の直径に棒を付けて回転させるとどのような形が見えるか調べる。	
1 ( 0 )	1 3 1	まとめ	⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。
			[オリンピック・パラリンピックで円と球さがし]	・オリンピックやパラリンピックに関連するものから円や球の形のものを探す。	・[以外]の学習活動としてp.131の「オリンピック・パラリンピックで円と球さがし」を読む。

★まなびリンク 動画「円のかき方(右きき)(左きき)」

★まなびリンク 動画「長さの写し取り方(右きき)(左きき)」

10月上旬 (2時間⇒1時間+[以外])

p.132~135

● かけ算とわり算の図

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
2 (1)	1 3 3 )		① 乗法や除法の数直線の見方や用い方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>15個のいちごを1人に5個ずつ3人に配る場面で、テープ図と式を関連づけて捉え、乗法と除法の数直線の見方を知る。</li> <li>10円のあめを4個買うときの代金を求める式が<math>10 \times 4</math>になる理由を、数直線を用いて説明する。</li> </ul>	
	1 3 4 )		② 乗法や除法の数直線のかき方や用い方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1個30円のチョコレートを3個買う場面で、乗法の数直線のかき方を知る。</li> <li>18個のあめを3人で等分する場面で、除法の数直線のかき方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[以外]の学習活動として、p.134~135の数直線のかき方を読み、それを参考に□1、□2に取り組み、ノート等にまとめる。</li> </ul>

<下巻>

# 10 かけ算の筆算

10月上旬～中旬（12時間⇒10時間+[以外]）

p.2～19

## ◆単元の目標と評価規準

○2位数や3位数に1位数をかける乗法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、乗法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(3)ア(ア)(イ), A(3)イ(ア)】

- ・2位数や3位数に1位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、乗法の計算が確実にできる。<知・技>
- ・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>
- ・乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

## ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項	
10	2 3 4	(2けた×1けたの計算)	①2位数×1位数の乗法の計算のしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「3まいで何円かな？」の活動をきっかけに、<math>20 \times 3</math>の計算のしかたを振り返るとともに、未習の問題に取り組むことに興味をもつ。</li> <li>・<math>23 \times 3</math>のような、2位数×1位数=2位数で繰り上がりのない乗法の計算のしかたを考える。(p.16～17の[友だちのノートを見てみよう]も扱う。)</li> </ul>		
		[算数のミカタ]		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい計算のしかたを考えるとき、数を分けて、23を20と3という見方をしたことを振り返る。</li> </ul>		
			②2位数×1位数の筆算のしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>23 \times 3</math>のような、2位数×1位数=2位数で繰り上がりのない乗法の筆算のしかたを考える。</li> </ul>		
			③2位数×1位数で十の位に繰り上がる乗法の計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>26 \times 3</math>のような、2位数×1位数=2位数で十の位へ繰り上がりのある乗法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。</li> </ul>		
			④2位数×1位数で百の位に繰り上がる乗法の計算や、2位数×1位数で途中の計算に0が出てくる乗法の計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>42 \times 3</math>や<math>65 \times 3</math>や<math>49 \times 7</math>のような、2位数×1位数=3位数の乗法の計算のしかたを考える。</li> <li>・<math>63 \times 8</math>や<math>47 \times 5</math>のような、2位数×1位数=3位数で途中の計算に0が出てくる乗法の計算のしかたを考える。</li> </ul>		
			(3けた×1けたの計算)	⑤3位数×1位数の乗法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>312 \times 3</math>のような、3位数×1位数=3位数で繰り上がりのない乗法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。</li> </ul>	
				⑥3位数×1位数の計算で繰り上がりのある乗法の計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>253 \times 3</math>のような、3位数×1位数=3位数で繰り上がりのある乗法の計算のしかたを考える。</li> </ul>	
				⑦3位数×1位数で千の位に繰り上がる乗法の計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>423 \times 3</math>のような、3位数×1位数=4位数の乗法の計算のしかたを考える。</li> </ul>	
				⑧3位数×1位数=4位数で空位がある乗法の計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>302 \times 8</math>のような、3位数×1位数=4位数で空位がある乗法の計算のしかたを考える。</li> </ul>	
				(倍の計算)	⑨倍にかかわる問題についてテープ図などを用いて数量の関係を捉え、倍概念の理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図をもとに4cmのテープの3倍の長さを更に2倍した長さが、もとのテープの何倍になるかを考える。</li> </ul>

		(かけ算の暗算)	⑩乗法の暗算ができる。	・23×4のような、2位数×1位数の暗算のしかたを考える。	
1 (0)	1 5 5 1 7	学んだことを使おう	⑪4位数×1位数の計算のしかたについて、3位数×1位数の乗法などをもとにして、発展的に考えることができる。*	・「かけられる数が4けたになっても…」という目的意識から、4000×3や4312×3のような、4位数×1位数の乗法の計算のしかたを考える。	・[以外]の「はってん」扱いの学習活動として選択的に取り組み、ノート等にまとめる。
			[友だちのノートを見てみよう]	・教科書のノート例や友だちのノートを見て、ノートの書き方の工夫について話し合う。	・第1時の授業後に、[以外]の学習活動としてp.16～17を読み、ノートの書き方を確認する。
1 (0)	1 9 8 5	まとめ	⑫学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。
			[かくれた数字]	・2位数×1位数、3位数×1位数の虫食い算に取り組む。	・[以外]の学習活動としてp.18の「かくれた数字」に取り組む。

## 11 重さ

10月下旬～11月上旬 (9時間⇒8時間+[以外])  
p.20～34

### ◆単元の目標と評価規準

○重さの単位「g, kg」について知り、測定の意味を理解し、単位を適切に選択して重さを測定する力を身につけるとともに、長さ、かさ、重さの単位の関係を統合的に考察する力を身につける。また、重さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(1)ア(ア)(イ), C(1)イ(ア)】

・重さの単位「g, kg」について知り、測定の意味と単位の関係を理解し、重さについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。<知・技>

・身のまわりのものの特徴に着目し、単位の関係を統合的に考察している。<思・判・表>

・重さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態度>

### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
6	2 0 5 2 9	重さくらべ	①②重さの意味、重さの比べ方、重さの単位「g」を理解する。	・「どちらが重いかな？」の活動をきっかけに、スポンジ、はさみ、電池の重さを比べることに興味をもつ。 ・ものの重さをつみ木を使って比べる活動をとおして、重さの比較・測定のしかたや意味について考える。 ・重さの単位「グラム(g)」を知る。	
		(はかり)	③はかりの機能と使い方を理解する。★	・はかりを使った測定のしかたや、目盛りのよみ方について知る。	
			④重さの単位「kg」と単位の関係を理解する。	・ランドセルの重さを量ることをとおして、重さの単位「キログラム(kg)」を知り、1kg=1000gを知る。	
			[算数のミカタ]	・ものの大きさの表し方を考えるとき、もとにする大きさを決めて、そのいくつ分という見方をしたことを振り返る。	
			⑤身のまわりのものの重さについて、およその見当をつけ、測定することができる。	・ものの重さに合ったはかりを選択して、身のまわりのいろいろなものの重さを量る。 ・本や砂などの具体物を使って、1kgの重さをつくる。	
		(はかり方のくふう)	⑥重さについても加法性が成り立つことを理解する。	・かごにのせたボールの重さの求め方を考えることをとおして、重さは加減計算ができることを知る。	
1	3 0 3 1	単位のしくみ	⑦接頭語「キロ(k)」「ミリ(m)」の意味を知り、重さ、長さ、かさの単位の関係を統合的に理解する。 重さの単位「トン(t)」を理解する。	・今まで学習してきた重さ、長さ、かさの単位を表に整理し、接頭語「k(キロ)」「m(ミリ)」の意味や単位の関係について考える。 ・重さの単位「トン(t)」を知り、1t=1000kgを知る。	
			[いろいろな単位]	・かさの単位「kL」、重さの単位「mg」を知る。	

1	3 2	学んだことを使おう	⑧身のまわりのものの大きさについての感覚をもち、メートル法の単位のしくみをもとに整理することができる。	・「単位の図かんをつくろう！」という目的意識から、いろいろな長さ、かさのものを見つけたり、適切な計器を使って測定したりして、接頭語に着目して整理してまとめる。	
1 (0)	3 3 4 5	まとめ	⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 [重さはかわるかな]	・単元のまとめをする。  ・体重計を使って、体勢を変えても重さは変わらないことを体験する。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。  ・第6時(p.29)の授業の中で、p.34の「重さはかわるかな」を扱う。

★まなびリンク 動画「はかりの使い方」

## ■ 1/2に分けよう

11月中旬 (1時間)

p.35

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	3 5		①1/2の大きさを方眼のます目の個数に着目して捉えることで、分数についての理解を深める。	・16個のます目の1/2に色を塗る活動をとおして、形は違っても、ます目の個数に着目すると1/2といえる場合があることを知る。	

## 12 分数

11月中旬～12月上旬 (10時間⇒9時間+[以外])

p.36～49

### ◆単元の目標と評価規準

○分数の意味と表し方、及び簡単な場合について分数の加法、減法の意味を理解し、分数の大きさを比べたり、計算のしかたを考えた力をつける。また、分数に進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(6)ア(ア)(イ)(ウ), A(6)イ(ア)】

- ・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表す数としての分数の意味と表し方、及び分数は単位分数のいくつ分で表せることを理解するとともに、簡単な場合について分数の加法、減法の意味を理解し、分数の大きさを比べたり計算したりすることができる。<知・技>
- ・数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えているとともに、分数を日常生活に生かしている。<思・判・表>
- ・分数に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
5	3 6 4 3	分数の表し方	①測定したときの量の大きさを表す分数(量分数)について理解する。	・「どちらが4等分かな？」の活動をきっかけに、4等分や1/4の意味を振り返り、等分した大きさの表し方に関心をもつ。 ・もとの長さの1/4と対比し、1mを4等分した1つ分を1/4mということを知る。	
			②量分数の表し方を理解し、「分母」「分子」の意味を理解する。	・1mを3等分した2つ分の長さを2/3mということを知り、分数の表し方を知る。 ・「分母」と「分子」の意味を知る。	
			③かさを分数で表すこととおして、量分数の意味と表し方について理解を深める。	・1Lを5等分した3つ分のかさを3/5Lということを知り、分母と分子が表す大きさについてまとめる。	
			④単位分数をもとにした分数の大きさを理解する。	・1/5, 2/5, …を数直線上に表すこととおして、分母と分子が同じ数のときは1になることを知る。	
			⑤同分母の分数の大小について理解する。また、1より大きい分数があることを理解する。	・7/10と8/10のような、同分母の分数の大小を比べる。 ・1/10の11個分、12個分の大きさを11/10, 12/10ということを知る。	

3	4 4 4 6	分数のたし算、ひき算	⑥⑦簡単な分数の加法の計算のしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>•<math>1/5+2/5</math>のような、同分母の真分数の加法の計算のしかたを考える。</li> <li>•<math>7/10+3/10=10/10</math>のような、和が1になる加法の計算のしかたを考える。</li> </ul>	
		[算数のミカタ]		<ul style="list-style-type: none"> <li>•新しい計算のしかたを考えるとき、<math>1/5</math>をもとにして、<math>1/5</math>が<math>(1+2)</math>個という見方をしたことを振り返る。</li> </ul>	
		⑧簡単な分数の減法の計算のしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>•<math>4/5-2/5</math>のような、同分母の真分数の減法の計算のしかたを考える。</li> <li>•<math>1-3/10=7/10</math>のような、1から真分数をひく減法の計算のしかたを考える。</li> </ul>		
1	4 7	学んだことを使おう	⑨等幅の直線を使ってテープに分数の目盛りをつける活動とおおして、量分数の意味について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>•「<math>1/5\text{m}</math>は何cmか調べよう！」という目的意識から、同じ幅に並んだ直線を使って1mの長さのテープに<math>1/5\text{m}</math>ずつの目盛りをつける方法を考え、<math>1/5\text{m}</math>は20cmになることを確かめる。</li> </ul>	
		[センスアップ]*		<ul style="list-style-type: none"> <li>•<math>1/2\text{m}</math>, <math>1/3\text{m}</math>, <math>1/4\text{m}</math>, …の紙テープを順に並べ、単位分数の分母が大きくなると1つ分の大きさが小さくなることに着目する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•[以外]の「はってん」扱いの学習活動として選択的に取り組む。</li> </ul>
1 (0)	4 8 9	まとめ	⑩学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>•単元のまとめをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•[以外]の学習活動として取り組む。</li> <li>•わからない問題があれば個別に支援する。</li> </ul>

### 13 三角形

12月上旬～12月中旬 (9時間⇒7時間+[以外])  
p.50～63

#### ◆単元の目標と評価規準

○二等辺三角形、正三角形について理解し、図形の性質を見いだしたり構成のしかたを考えたりする力を身につけるとともに、基本的な図形と関連して角について知る。また、図形の特徴を見いだすことに進んで関わり、身のまわりものの形を二等辺三角形、正三角形として捉えるなど、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(ア)(イ), B(1)イ(ア)】

- 二等辺三角形、正三角形について理解し、作図などとおおしてそれらの関係に次第に着目することができる。また、基本的な図形と関連して角について知っている。<知・技>
- 図形を構成する要素に着目し、構成のしかたを考えるとき、図形の性質を見だし、身のまわりものの形を図形として捉えている。<思・判・表>
- 二等辺三角形、正三角形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

#### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
5	5 0 5 7	(二等辺三角形、正三角形のかき方)	①②二等辺三角形、正三角形の意味を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>•「どんな三角形ができるかな？」の活動をきっかけに、4種類のストローを使ってできた三角形に関心をもつ。</li> <li>•4種類のストローを使っていろいろな三角形を作り、辺の長さに着目して分類し、二等辺三角形、正三角形について知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•予習で、4種類の長さのストローを配布してp.50の「どんな三角形ができるかな？」に取り組む、いろいろな三角形を作る。</li> <li>•授業では、予習をもとにp.51の葉1から取り組み、p.53までの第1・2時を1時間で指導することが考えられる。</li> <li>•授業後に、[以外]の学習活動としてp.53の□1に取り組む。</li> </ul>
			[二等辺三角形、正三角形さがし]	<ul style="list-style-type: none"> <li>•身のまわりから二等辺三角形や正三角形のものを見つける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•予習で、p.54の「二等辺三角形、正三角形さがし」、及び葉2に取り組む。</li> <li>•授業では、予習をもとにp.55の葉3から取り組み、p.56の葉4までの第3・4時を1時間で指導することが考えられる。</li> <li>•授業後に、[以外]の学習活動としてp.56の□2に取り組む。また、二等辺三角形、正三角形の作図については、[以外]の学習活動として継続的に取り組む。</li> </ul>
			③二等辺三角形の性質と構成要素について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ドットの図を使って、あと1点をどこにとると二等辺三角形になるかを考え、作図する。</li> </ul>	
			④二等辺三角形、正三角形の作図のしかたを理解する。★	<ul style="list-style-type: none"> <li>•定規とコンパスを使って、二等辺三角形の作図のしかたを考える。</li> <li>•二等辺三角形の作図のしかたをもとに、正三角形の作図のしかたを考える。</li> </ul>	

		(三角形づくり)	⑤二等辺三角形, 正三角形の辺の相等について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>円の半径を使って三角形を作図し, 二等辺三角形や正三角形ができることを説明する。</li> <li>折り紙を使って二等辺三角形や正三角形を作り, その方法について説明する。</li> </ul>	
2	5 8 6 0	角	⑥図形の角の意味, 性質を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角定規のかどの大きさを比べることをとおして, 角の意味, 角の大きさについて知る。</li> </ul>	
			⑦二等辺三角形, 正三角形の角の相等について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>角を重ね合わせて比べることをとおして, 二等辺三角形は2つの角の大きさが等しく, 正三角形は3つの角の大きさが等しくなっていることを知る。</li> </ul>	
			[算数のミカタ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形の特徴を調べるとき, 辺の長さや角の大きさに着目したことを振り返る。</li> </ul>	
1 (0)	6 1	学んだことを使おう	⑧敷き詰め模様の構成, 観察をとおして, 平面図形の広がりや図形の美しさを捉え, 図形についての感覚を豊かにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「三角形でもようを作ろう!」という目的意識から, 二等辺三角形や正三角形を敷き詰めた模様を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[以外]の学習活動として取り組み, 作品及び気づいたことをノート等にまとめる。</li> </ul>
			[三角定規で形を作ろう]	<ul style="list-style-type: none"> <li>同じ大きさの三角定規を何枚か組み合わせて, 凧形や大きな正三角形を作る方法を考える。</li> </ul>	
1 (0)	6 3	まとめ	⑨学習内容の理解を確認し, 確実に身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元のまとめをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[以外]の学習活動として取り組む。</li> <li>わからない問題があれば個別に支援する。</li> </ul>

★まなびリンク 動画「二等辺三角形のかき方(右きき)(左きき)」

## ■ タイルは何まい

12月下旬 (1時間)

p.64

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	6 4		①正三角形の敷き詰め模様からほかの図形を見だし, その図形をまとまりとして捉え, 乗法の式を用いて正三角形の枚数を表すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>規則的に並んだ正三角形のタイルの枚数の求め方を, <math>8 \times 3</math>, <math>4 \times 6</math>, ... など, いろいろな式で考える。</li> </ul>	

## ◎ ふくしゅう④

頁	学習活動
6 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>「あまりのあるわり算」「10000より大きい数」「円と球」「かけ算の筆算」の復習をする。</li> </ul>

## 14 小数

1月上旬～下旬 (11時間⇒10時間+[以外])

p.66～81

### ◆単元の目標と評価規準

○小数の意味と表し方, 及び小数の加法, 減法の意味を理解し, 小数の大きさを比べたり, 計算のしかたを考えたりする力を身につける。また, 小数に進んで関わり, そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(5)ア(ア)(イ), A(5)イ(ア)】

- ・端数部分の大きさを表す数としての小数の意味と表し方を理解するとともに, 小数の加法, 減法の意味を理解し, 小数の大きさを比べたり計算したりすることができる。<知・技>
- ・数のまとまりに着目し, 小数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えるとともに, 小数を日常生活に生かしている。<思・判・表>
- ・小数に進んで関わり, 数学的に表現・処理したことを振り返り, 数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
5	6 6 7 3	小数の表し方	①小数の意味と表し方、「小数」「小数点」「整数」の意味を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「水のかさは何Lかな？」の活動をきっかけに、1Lに満たない端数部分のかさの表し方に関心をもつ。</li> <li>・1Lの1/10の大きさを0.1Lということを知り、小数の意味、表し方を知る。</li> <li>・「小数」「小数点」「整数」の意味を知る。</li> </ul>	
			[小数さがし]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身のまわりから小数で表されているものを見つける。</li> </ul>	
			②長さを小数で表すこととおして、小数の構成や表し方についての理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3cm7mmを3.7cmと表すように、複名数で表された長さを小数を用いて単名数で表すしかたを考える。</li> </ul>	
			③小数の構成、相対的な大きさ、小数の位取り(1/10の位)、小数と整数の関係について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数直線上に小数を表したり、2.4と24の関係などを調べたりする。</li> <li>・小数の位取り(1/10の位、小数第一位)の意味を知る。</li> <li>・0.1、1、10、100の関係を調べ、10倍、1/10の関係になっていることを知る。</li> </ul>	
			④数の大小比較をとおして、小数と整数の関係について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2.8と3の大小比較のしかたを考え、説明する。</li> </ul>	
5	7 4 7 9	小数のたし算、ひき算	⑤小数と分数の関係について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小数と分数を1つの数直線上に表す。</li> <li>・0.6と7/10の大小比較のしかたを考え、説明する。</li> </ul>	
			⑥繰り上がりのない小数の加法の計算のしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2.5+1.3のような、繰り上がりのない小数の加法の計算のしかたを考える。</li> </ul>	
			⑦繰り上がりのある小数の加法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2.6+1.7のような、整数部分へ繰り上がる加法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。</li> </ul>	
			⑧小数の加法で答えが整数になる場合や、整数と小数の加法の計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1.4+2.6のような、答えの小数部分が0になる加法の計算のしかたを考える。</li> <li>・35+4.8のような、整数+小数の加法の計算のしかたを考える。</li> </ul>	
			⑨繰り下がりのない小数の減法の計算のしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2.5-1.3のような、繰り下がりのない小数の減法の計算のしかたを考える。</li> </ul>	
1 (0)	8 1 5	まとめ	⑩学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のまとめをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[以外]の学習活動として取り組む。</li> <li>・わからない問題があれば個別に支援する。</li> </ul>

◎ ふくしゅう⑤

頁	学習活動
8 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「重さ」「分数」「三角形」の復習をする。</li> <li>・単元15「2けたの数のかけ算」に関わる既習事項を確認する。</li> </ul>

## ■ オリンピックにちょうせん

1月下旬 (1時間⇒0時間+[以外])

p.83

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1 (0)	8 3		①時間や長さの量感を豊かにする。	・オリンピック記録の時間や長さを、自分にとって実感がもてる量に置きかえて捉える。	・[以外]の学習活動として取り組み、ノート等にまとめる。

## 15 2けたの数のかけ算

2月上旬～中旬 (10時間⇒9時間+[以外])

p.84～95

### ◆単元の目標と評価規準

○2位数や3位数に2位数をかける乗法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、乗法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(3)ア(ア)イ、A(3)イ(ア)】

- ・2位数や3位数に2位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、乗法の計算が確実にできる。<知・技>
- ・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>
- ・乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
8	8 4 5 9 2	(何十をかける計算)	①②1位数×何十、2位数×何十の計算のしかたを理解する。	・「キャップは何こひつよう？」の活動をきっかけに、 $4 \times 3$ や $4 \times 10$ のような既習の計算を振り返るとともに、未習の問題に取り組むことに興味をもつ。 ・ $4 \times 30$ のような、何×何十の乗法の計算のしかたを考える。 ・ $12 \times 30$ のような、何十何×何十の乗法の計算や、 $40 \times 30$ のような、何十×何十の乗法の計算のしかたを考える。	
		(2けた×2けたの計算)	③④2位数×2位数=3位数の乗法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。	・ $12 \times 23$ のような、2位数×2位数の乗法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。	
		(計算のくふう)	⑤2位数×2位数で、部分積が3桁になる乗法の計算ができる。	・ $39 \times 75$ のような、部分積が3桁になる乗法の計算のしかたを考える。	
		(3けた×2けたの計算)	⑥被乗数や乗数に空位がある場合について、乗法の筆算の工夫のしかたを理解する。	・ $28 \times 30$ を、通常の計算のしかたと、省略するしかたで計算をして比べる。 ・ $40 \times 36$ と $36 \times 40$ の計算のしかたを比べる。	
			⑦3位数×2位数=4位数の乗法の計算ができる。	・ $218 \times 34$ のような、3位数×2位数の乗法の計算のしかたを考える。	
		⑧3位数×2位数=5位数の乗法の計算ができる。	・ $576 \times 38$ のような、答えが5位数になる乗法の計算のしかたを考える。 ・ $304 \times 52$ のような十の位に空位のある乗法の計算のしかたを考える。		
1	9 3	学んだことを使おう	⑨日常生活の場面と関連づけて、乗法の計算を活用することができる。	・「校しゃの高さを調べよう！」という目的意識から、必要な情報を選択して校舎の高さを求め、その求め方について説明する。	
1 (0)	9 4 5	まとめ	⑩学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

## 16 □を使った式と図

### ◆単元の目標と評価規準

○数量の関係を表す式について理解し、未知の数量を□として式に表したり、式と図を関連づけて式をよんだりする力を身につける。また、□を用いた式に進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(7)ア(ア)、A(7)イ(ア)】

- ・数量の関係を表す式について理解し、未知の数量を□として式に表したり、□に数をあてはめて調べたりすることができる。<知・技>
- ・数量の関係に着目し、数量の関係を図や式を用いて簡潔に表したり、式と図を関連づけて式をよんだりしている。<思・判・表>
- ・数量の関係を表す式に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
4	9 6 5 1 0 1		①加法や減法の場面において、未知の数量を□として式に表し、□にあてはまる数を求めることができる。	・「お話を式に表そう！」の活動をきっかけに、買い物の場面を線分図や式に表すことに関心をもつ。 ・線分図や言葉の式をもとに、未知の数量を□として減法の式に表し、□にあてはまる数の求め方を考える。	
			②□にあてはまる数を求めることをとおして、加法と減法の相互関係を理解する。	・加法や減法の場面を□を用いた式に表し、図をもとに□にあてはまる数を求め、加法と減法の相互関係についてまとめる。	
			③乗法と除法の場面において、未知の数量を□として式に表し、□にあてはまる数を求めることができる。	・あめの代金を求める場面で、数直線や言葉の式をもとに、未知の数量を□として乗法の式に表し、□にあてはまる数の求め方を考える。	
			④□にあてはまる数を求めることをとおして、乗法と除法の相互関係を理解する。	・乗法や除法の場面を□を用いた式に表し、図をもとに□にあてはまる数を求め、乗法と除法の相互関係についてまとめる。	
1 (0)	1 0 3 5	まとめ	⑤学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[以外]の学習活動として取り組む。</li> <li>・わからない問題があれば個別に支援する。</li> </ul>
		[倍の計算と、□を使った式]	・倍を求める除法の式を振り返り、12cmは4cmの何倍かを求める式が $12 \div 4$ になる理由を、 $4 \times \square = 12$ という□を用いた乗法の式をもとに説明する。	・第4時(p.101)の授業の中で、p.103の「倍の計算と、□を使った式」を扱う。	

### ◎ ふくしゅう⑥

頁	学習活動
1 0 4	・「小数」「2けたの数のかけ算」「倍の計算」の復習をする。

## 17 そろばん

3月上旬（3時間）

p.105～108

### ◆単元の目標と評価規準

○そろばんによる数の表し方を理解し、簡単な加法及び減法の計算ができるとともに、そろばんのしくみに着目し、大きな数や小数の計算のしかたを考える力を身につける。また、そろばんに進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(8)ア(ア)(イ), A(8)イ(ア)】

- ・そろばんによる数の表し方を理解し、簡単な加法及び減法の計算ができる。<知・技>
- ・そろばんのしくみに着目し、簡単な加法及び減法の計算のしかたを考えている。<思・判・表>
- ・そろばんに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
3	1 0 5 5 1 0 8	(そろばんの数の表し方)	①そろばんの各部の名称, しくみ, 数の表し方について理解する。★	・そろばんのしくみを知り, 十進位取り記数法による数の表し方と対比しながら, そろばんでの数の表し方を知る。 ・そろばんの数の入れ方, はらい方を知る。	
		(そろばんの計算)	②そろばんを使って, 簡単な1位数や2位数の加減計算ができる。	・基本的な加法, 減法の珠の動かし方を知る。 ・ $31+58$ , $89-58$ , $4+3$ , $7-3$ , $4+7$ , $11-7$ のような, 簡単な加減計算のしかたを知る。	
			③そろばんを使って, 何万や小数の加減計算ができる。	・ $3万+5万$ や $10万-2万$ のような何万の加減計算, $2.3+0.6$ や $1.1-0.8$ のような簡単な小数の加減計算のしかたを知る。	
			[日本のそろばん]★	・そろばんの歴史や産地について知る。	

★まなびリンク シミュレーション「そろばんツール」

★まなびリンク 資料「そろばん学習についてのページ(日本珠算連盟)」

## ■ カレンダーを調べよう

3月上旬（1時間）

p.109

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	1 0 9		①規則的に並んだ数のきまりを筋道立てて考え解決することをおして, 論理的な思考力を伸ばす。	・カレンダーで3つ並んだ数の和を考察して, きまりを見つける。	

## ● 算数を使って考えよう

3月上旬（2時間）

p.110～113

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
2	1 1 1 0 3	(給食調べ)	①②知識・技能等を活用し, 課題解決のための構想を立て, 筋道を立てて考えたり, 数学的に表現したりすることができる。	・給食アンケートをまとめた表やグラフをもとに, 「好きなメニュー調べ」の結果からよみ取れることを考え, 説明する。	
		(本だな)		・部屋の図をもとに, ドアを開くときに動く範囲を考え, どの本棚を置けばよいかを説明する。	

## ◎ 3年のまとめ

3月中旬（4時間⇒0時間+[以外]）

p.114～117

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
4 (0) (0)	1 1 1 4 7		①②③④第3学年の学習内容の問題を解決することができる。	・数と計算, 図形, はかり方, 表とグラフについての問題に取り組む。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。